

公益社団法人日本地球惑星科学連合
2022年度(令和4年度)第4回理事会議事録

1. 開催日時 2022年9月13日(火) 9:00-12:00
2. 開催場所 Zoomによるオンライン会議
3. 出席者 理事数 20名
出席理事 13名 (定足数11名 会議成立)
4. 議長 理事 高橋 幸弘

5. 出席役員

理事 高橋 幸弘
理事 田近 英一
理事 サイモン・ウォリス
理事 小口 千明
理事 河宮 未知生
理事 堀 利栄
理事 阿部 なつ江
理事 大谷 栄治
理事 沖 理子
理事 川幡 穂高
理事 成瀬 元
理事 福山 繭子
理事 和田 浩二
監事 鈴木 善和
監事 春山 成子
監事 松本 淳

6. 出席オブザーバー

| | |
|----------------------|--------|
| 情報システム委員会委員長 | 興野 純 |
| ダイバーシティ推進委員会委員長 | 坂野井 和代 |
| 宇宙惑星科学セクションプレジデント | 関 華奈子 |
| 大気水圏科学セクションバイスプレジデント | 東塚 知己 |
| 地球人間圏科学セクション幹事 | 若狭 幸 |

| | |
|----------------------|-------|
| 固体地球科学セクションプレジデント | 田中 聡 |
| 地球生命科学セクションプレジデント | 掛川 武 |
| 地球生命科学セクションバイスプレジデント | 遠藤 一佳 |
| 地球生命科学セクション幹事 | 岡崎 裕典 |
| 学協会長会議議長 | 巖網林 |

午後9時00分、定数に達したので高橋幸弘会長が開会を宣言した。インターネット会議システムZoomを利用し、審議において参加者全員が互いに適時的確な意見表明ができることを確認した。

7. 審議事項

第1号議案 新入会員承認の件

- ・定款第8条2項の会員の入会の定めに従い、新規入会者の入会を審議し、これを承認した。

第2号議案 委員会委員承認の件

- ・環境災害対応委員会、教育検討委員会の新規委員を審議し、これを承認した。

第3号議案 日本学術会議公開シンポジウム共催の件

- ・公開シンポジウム「私たちの地球はどんな惑星かー科学を混ぜて地球を探る」との共催を審議し、これを承認した。

また、これに関連し連合としてもIYBSSDに関するイベントを検討することとなった。

8. 報告事項

1. 高橋 幸弘代表理事 職務報告

○関連学会との新たな連携について

- ・分野の活性化を図るため、関連学会との連絡を取っている。以下のように、国内では生命、農学、環境、防災関連の学会と、海外ではマレーシア、フィリピン、インドネシア等のリモートセンシング、地質、防災などの学会長と面談した。

・新たな学会と連携するだけでなく、現在の団体会員である学協会の会員にJpGUの会員になってもらう努力が必要であるとの指摘があった。

・AGUの農業分野は必ずしも地球惑星科学と十分な連携が行われていないという指摘があった。JpGUではまず接点を増やすことから長期的に取り組むたいとの説明があった。

- ・AGU等との連合同士のMOUだけでなく、学協会との連携を検討している。

- ・会費と大会参加費の比率の検討等も含め、個別の学協会とJpGUの両方の会員になってもらう策を検討してはどうかという意見があった。

○学協会との意見交換について

- ・学協会長会議の厳議長と意見交換を行った。持続的なコミュニティの発展について検討している。

2. 田近 英一理事（広報普及担当）職務報告

- ・広報普及関連の報告があった。JGLの最新号（Vol. 18, No. 3）を発行した。

3・ウォリス理事 職務報告

- ・MOUを結んでいない学協会と連携して、2023年大会にセッションを開催することを検討している。セッション提案に間に合わせることを目指している。

- ・国際賞の創設を検討している。

- ・IGCの問題について、長期の話し合いに関わらず竹島巡検は中止を検討するとの回答にとどまり、日本海呼称問題は改善が見られなかった。JpGUとしてはこの問題に対しどのような対応をするか検討していく。

4. 小口 千明理事 職務報告

- ・環境災害対応委員会の活動報告があった。今期は学協会からの推薦だけではなく、意欲のある方を委員として迎えており、今後も引き続き新たな委員を迎える予定である。

5. 河宮 未知生理事 職務報告

- ・賛助会員の新たな制度について税理士から制度について懸念が指摘され、引き続き検討している。

- ・日本電気株式会社が賛助会員への加入を取りやめ、同額の寄附金をいただいた。

6. 堀 利栄理事 職務報告

- ・ダイバーシティ推進関連の報告があった。ハラスメントの調査について検討している。

7. 道林 克禎理事（総務担当）職務報告

- ・福山理事より代理で総務関連について報告があった。

- ・これまで後援等報告したイベントについて報告があった。

- ・労働基準監督署立ち入り調査があった。1. 深夜・早朝労働に対し割増賃金を支払っていないこと、2. 年10日以上の有給休暇付与者には年5日以上の有給休暇を取得させること3. 健康診断個人票を作成・5年間保存することの三点の是正勧告があった。

今回は勧告にとどまったが、労働環境については問題が残っており、是正する必要がある。

- ・理事会の開催スケジュールに合わせるため、今期から各委員会委員の任期を、例外的な委員会を除き原則7月末までとした。

8. 成瀬 元理事（財務担当）職務報告

- ・財務関連の報告があった。
- ・インボイス発行事業者となるため、準備を進めている。
- ・税額控除団体の登録を目指し準備を進めている。要件は寄附者の人数であり、ようやく目途が立った。
- ・10月から2023年度の予算作成を予定しているため、委員会・セクションの皆様にご協力をお願いしたい。

9. 和田 浩二理事（大会運営担当）職務報告

大会運営委員会活動状況について報告があった。

○大会準備状況について

- ・10月3日にセッション提案受付・サイトオープンの予定である。
- ・開催方式は昨年を踏襲する。COVID-19感染対策に十分留意したうえでハイブリッド開催とする。オンラインポスターを口頭発表と同時開催し、期間を一週間に収める。
- ・オンラインポスターセッションのプラットフォームは検討中である。ZoomのブレイクアウトルームやRemoが選択肢となっている。また、ポスター発表成立の必須要件も合わせて検討している。
- ・会場について、展示ホール特設会場や東京ベイ幕張ホールの利用の有無は検討中である。展示ホール特設会場は音響等に、東京ベイ幕張ホールは入場者管理や本部設置にそれぞれ課題がある。
- ・参加登録料は現地参加の有無や参加機関に依らず一律を予定している。改訂の必要について指摘があり、年内に確定すべく検討することとした。

○パブリックセッション提案について

- ・時間的余裕がない中でプログラム委員会が編成を行っており、内容や妥当性について毎回時間を取られている。そのため、パブリックセッションとすることが相応しいかどうかをあらかじめよく検討したうえでパブリックセッションとして提案することを、委員会セクションへお願いしたい。

10. 沖 大幹理事（グローバル戦略担当）職務報告

- ・ウォリス理事からの報告があったため省略する。

11. ダイバーシティ推進委員会活動報告（阿部担当理事）

- ・坂野井委員長より、ダイバーシティ推進委員会活動報告があった。
- ・『女子中高生夏の学校』の参加報告があった。

- ・地球惑星科学が学べる大学のリストを作している。

12. 教育検討委員会活動報告（阿部担当理事）

- ・教育検討委員会の活動報告があった。
- ・未来科学者育成ワーキンググループについて、引き続き検討している。『女子中高生夏の学校』の参加者から地球惑星科学分野の進路相談があった。
- ・助成金申請について方針を検討してほしいという相談があった。

13. 環境災害対応委員会報告（沖担当理事）

小口理事から報告があったため省略する。

14. 情報システム委員会活動報告（村山担当理事）

- ・情報システム委員会の活動報告があった。
- ・日本ORCIDコンソーシアム会員として、Affiliation Managerの利用準備をしている。JpGUのクレジットで委員歴や受賞経歴等が登録できるようになる。
- ・研究データマネジメント（RDM）について検討している。国内での研究データ置き場が確保されていないという課題があり、こうした課題を議論するグループの形成を急いでいる。我が国の地球惑星科学分野のデータプラットフォーム整備を検討する体制を目指したい。

15. ジャーナル関連活動報告（倉本担当理事）

- ・ジャーナル関連の活動報告があった。大谷栄治委員から多田隆治委員への総編集長の交代を9月15日に予定している。
- ・ジャーナルの投稿・出版状況の報告があった。順調に推移している。

16. 顕彰委員会活動報告（川幡担当理事）

- ・顕彰委員会の活動報告があった。今期の委員会では新たな賞の創設を予定している。過去に審査委員を経験した方を委員として迎えた。
- ・フェロー候補者募集審査日程並びに西田賞受賞候補者募集審査日程が示され、理事会として了承した

議長は以上をもって、すべての議事を終了した旨を述べ、閉会を宣した（12時00分）。

以上の議事の要領及び結果を明確にするため、本議事録を作成し、出席理事は次に記名・押印する。（捺印欄配布時省略）

2022年9月13日

公益社団法人日本地球惑星科学連合 第4回理事会

| | | | |
|------|-----------|-----|---|
| 出席理事 | 高橋 | 幸弘 | 印 |
| 出席理事 | 田近 | 英一 | 印 |
| 出席理事 | サイモン・ウォリス | | 印 |
| 出席理事 | 小口 | 千明 | 印 |
| 出席理事 | 河宮 | 未知生 | 印 |
| 出席理事 | 堀 | 利栄 | 印 |
| 出席理事 | 阿部 | なつ江 | 印 |
| 出席理事 | 大谷 | 栄治 | 印 |
| 出席理事 | 沖 | 理子 | 印 |
| 出席理事 | 川幡 | 穂高 | 印 |
| 出席理事 | 成瀬 | 元 | 印 |
| 出席理事 | 福山 | 繭子 | 印 |
| 出席理事 | 和田 | 浩二 | 印 |
| 出席監事 | 鈴木 | 善和 | 印 |
| 出席監事 | 春山 | 成子 | 印 |
| 出席監事 | 松本 | 淳 | 印 |